

# おいらせ

Public  
Relations  
February  
2012  
No.84

# 2



## 思いをしたためる

新年かきぞめ大会は1月5日、町民交流センターで開かれ、町内から約120人の子どもたちが参加しました。

課題は「春を待つ」や「希望の光」など、学年ごとに決められています。参加者は真剣な表情で画仙紙に向かい、筆を走らせていました。写真は小学5年の部で参加した小向輝<sup>ひかる</sup>くん（木内々小5年）



# 平成 23 年度おいらせ町成人式

— 無限の可能性を信じ、未来へ羽ばたく —



成人式は1月8日、町民交流センターで開かれました。今年成人を迎えたのは283人。うち199人が出席しました。平成生まれの若人たちが、新たに大人の仲間入り。保護者をはじめ、多くの関係者の祝福を受けながら、新成人たちは無限の可能性を信じて明日へ飛び立ちました。



- 02 CONTENTS
- 03 成人式
- 06 Oirase Topics
  - すこやか杯小学生バレーボール大会
  - 百石中学校新校舎落成記念式典
  - ミニ議会
  - アグリのリイチゴ園オープン ほか
- 10 震災復興フォーラム
- 12 震災に関するアンケート調査
- 14 おいらせ町震災復興計画 概要版
- 16 Monthly Oirase Information
  - ◎お知らせ
  - 百石えんぶり
  - 選挙時の投票立会人登録者を募集します
  - 平成23年分所得申告を受け付けます
  - 子育て支援センターのサークルにおいてよ
  - 高額医療費制度からのお知らせ ほか
- 24 おいらせアーカイブス  
 スポーツ少年団紹介
- 25 図書館情報
- 26 健康カレンダー
- 27 戸籍の窓
- 28 ZoomUp  
 柏崎小雪さん(上新町)

## ∞\* Oirase Town Information \*∞

おいらせ自慢の風景「おいらせ町景観百選」

File\_10

### 百石えんぶり



春を告げ、五穀豊穡を祈願する百石えんぶりは、180年以上の伝統を誇る郷土芸能です。烏帽子の房が地面に触れるほどの激しい摺りと、かわいらしい子どもたちの舞が披露されます。

おいらせが全国に誇るブランド  
 Oirase's Brand

味噌(柏みその会)



町内の学校給食で使われているお味噌です。濃厚で深みのある味が特徴です。地元の原料と塩にこだわって、手作りで作っています。給食で育った子どもたちが大人になってもおいらせの味として思い出してほしいものです。  
 ◎おはよう広場 ☎0178-56-5487  
 おいらせ新鮮市場(イオンモール下田内) ☎0178-50-3182

町章  
 Oirase's Symbol



町名そのものをデザイン化した町のシンボル。▶緑色は豊かな自然環境と田園定住都市▶青色は奥入瀬川と太平洋▶赤色は住民の活力——を表す。

町のイメージキャラクター  
 Oirase's Image Character



名前は「おいらくん」。丸みのある顔はOIRASEの頭文字「O」と町民の和、胴体は命の源である水のしずくを表現し、キャラクター化した。

### まちの人口と世帯(1月1日現在)

	人口	前月比
男性	12,213	↑ 18
女性	12,935	↑ 13
合計	25,148	↑ 31
	世帯数	前月比
世帯	9,499	↑ 11



### 町の花木鳥 Oirase's Flower & Tree & Bard



さくら  
 Cherry Blossoms



いちよう  
 Maidenhair Tree



はくちよう  
 Swan



5



4



1



7



6

- 4 記念品贈呈に臨む松林大貴さん=木内々=、堀切川瞳さん=堀切川=。記念のDVD目録が贈呈された
- 5 仲間との久々の再会に喜び合う
- 6 東養蜂場からいただいた蜜ロウを使い、百石高校食物調理科の生徒たちがキャンドルを作成。当日はそれぞれの円卓に飾られた
- 7 百石高校食物調理科の生徒の手づくり料理。本格的な味に、多くの新成人が舌鼓を打った
- 8 受付の様子。スタッフに説明を受ける新成人
- 9 ピアノの伴奏に合わせ、真剣な表情で君が代を斉唱する新成人たち
- 10 11 カメラを前に皆でポーズ



8

## 大人としての責任を 胸に刻んで

1 月8日、身の引き締まるような寒さと澄み切った青空のもと、本年度の成人式は町民交流センターで開かれました。

会場には、スーツ姿のりりしい男性、振袖姿の美しい女性たちが集いました。かつて共に時間を過ごしてきた友人との再会に、大喜びする姿も。

これまで20年間、手塩にかけて育ててきたわが子の姿に、目を細める保護者らの姿もありました。

式典が始まり、新成人は一人ずつ会場へ入場。立派に成長した姿を披露しました。たくましく育った息子の姿、華やかな振袖に身を包んだ愛娘の姿に、保護者は惜しめない拍手を送りました。

町 民憲章を読み上げたのは、高橋暁生さん=若葉=。壇上で、堂々と唱和をリードしました。

成田町長は新成人へ「おいらせの将来を担う人材になってほしい」と激励。ほかにも多くの来賓から、新成人へ温かい言葉が送られました。

引き続き「20歳(はたち)の提言」が読み上げられました。務めたのは上久保琴美さん=二川目=。大人としての責任、目指すべき姿を、新成人全員で胸に刻みました。

およそ1時間に及ぶ式典が終わると祝賀会。会場は模様替えされ、百石高校食物調理科の生徒が、腕によりをかけて作った料理がずらりと並びます。プロ顔負けの味に、新成人たちも思わず笑顔があふれます。

みんなの愛情、期待を寄せられながら、新成人たちは希望を胸に、明日へと飛び立ちます。

- 1 再会を喜び、満面の笑顔で写真撮影をする新成人たち
- 2 「20歳(はたち)の提言」を読み上げる上久保琴美さん=二川目=。
- 3 真剣な表情で町民憲章を朗読する高橋暁生さん=若葉=



11



10



9



3



2

▶▶▶ Dec.16-2011

**腕** ■百石高校食物調理科のビュッフェ  
によりをかけた料理に舌鼓



県立百石高校（西澤孝悦<sup>こうえつ</sup>校長）食物調理科は12月16日、季節の食材を使った料理で新成人をもてなすためのビュッフェを開きました。

これは1月に開かれる成人式で披露する料理などを試作し、評価してもらうもの。生徒たちは「いらっしゃいませ」と大きな声であいさつしながら、料理を振る舞いました。

町連合婦人会員の瀧岡ナホさん（二川目）は「地場産の素材を生かしていて、完成度が高い」と太鼓判を押していました。

◀生徒手作りの料理に瀧岡さんも思わずにっこり

▶▶▶ Dec.19-2011

**新** ■百石中学校新校舎落成記念式典  
しい歴史を私たちの手で



町立百石中学校（松林義一<sup>よしかず</sup>校長）は12月19日、同校体育館で新校舎落成記念式典を行いました。関係者や保護者、生徒たち500人が出席し、落成を祝いました。

生徒代表のあいさつをした日ヶ久保<sup>ひかる</sup>さん（3年）は「新校舎の建設に携わった人たちに感謝し、地域や保護者の人たちに自分たちが成長しているのを見守っていて欲しい」と感謝の気持ちを述べていました。生徒たちは震災直後から新校舎で学校生活を送っています。

◀式典で校歌を歌う生徒たち

▶▶▶ Dec.23-2011

**子** ■「語ろう、子どもの教育 in おいらせ」  
どもの教育をテーマに話し合う



町教育委員会（袴田健志<sup>たけし</sup>教育長）は、12月23日、町民交流センターで「語ろう、子どもの教育 in おいらせ」を開催しました。この取り組みは子どもの教育に関して普段感じていることを参加者たちがざっくばらんに話し合い、それぞれの考えを参加者たちで共有していくために行ったもの。

参加した30人は「家庭学習」「食育」「スポーツ活動」「あいさつ」といったそれぞれのテーマごとに分かれて、グループで意見を出し合いました。その後、発表が行われ、参加者たちはうなづきながらそれぞれの発表に聞き入っていました。

◀議論を交わし話し合う参加者たち

▶▶▶ Dec.11-2011

**白** ■すこやか杯小学生バレーボール大会  
熱した試合に声援が送られる



木内<sup>つよし</sup>スポーツ少年団バレーボール部後援会（山内幸治会長）は12月11日、町民交流センターで第18回すこやか杯おいらせ町小学生バレーボール交流大会を開きました。

町内外から8チームが参加し、各コートでは熱戦が繰り広げられました。決勝戦はきのしたSSV対五戸東。熱戦の末、きのしたSSVが優勝に輝きました。

応援に来ていた保護者たちも声援を送っていました。

◀スパイクを決めるきのしたSSVの小泉<sup>ももか</sup>選手（木ノ下小5年）

▶▶▶ Dec.15-2011

**だ** ■だるま芋へっちょこ汁を使った給食  
るま芋へっちょこの販売に手応え



おいらせブランド推進協議会（西入重雄<sup>しげお</sup>会長）は、12月15日、下田中学校でだるま芋へっちょこ汁の種芋を給食に提供しました。

当協議会は、「だるま芋へっちょこ（種芋）」を販売製品としての品質にまで仕上げ、現在は販売に向けた調整段階。協議会員以外の団体で使用し課題を抽出するため行ったものです。

へっちょこ汁を食べた内沢航大<sup>こうた</sup>さん（2年）は、「おいしくておかわりした。また給食で食べたい」と笑顔で話していました。

◀だるま芋へっちょこを食べ、生徒たちはにっこり

▶▶▶ Dec.15-2011

**ま** ■行政推進委員会議  
ちづくりに向け真剣議論



行政推進委員会議は12月15日、東公民館で開かれ、58地区の行政推進委員や町関係者が出席しました。

町は今回の震災の経過説明や今後の対応などを説明した上で、今年度の町主催事業などを報告しました。

行政推進委員からは「コミュニティ助成金をもっと活用したい」「今一度、防災無線放送を行う基準の見直しが必要だ」など、さまざまな意見が寄せられていました。

◀発言する上新町地区推進委員の山崎<sup>ひとし</sup>さん

▶▶▶ Jan.07-2012

■アグリのリイチゴ園オープン

# イチゴをほおぼり笑顔がこぼれる



アグリのリおいらせでは、1月7日、イチゴ園をオープンし、セレモニーを行いました。セレモニーではテープカットに始まり、おいらくんも出席し和やかな雰囲気の中で行われました。

招待された三田保育園、もりのか保育園の園児たち24人がイチゴの摘み取りを楽しみました。園児たちは大粒のイチゴを見つけると「おいしい」「甘い」と歓声をあげながら次々と口の中へ運んでいました。

◀ビニールハウスで摘み取ったイチゴをほおぼる園児たち

▶▶▶ Jan.07-2012

■交通指導隊出動式

# 交通安全を願い決意を新たに



町交通指導隊出動式は1月7日、本庁舎前で行われ、隊員含め30人余りが参加しました。隊員は氣比神社で交通安全を祈願した後、本庁舎前で出動式に臨み、三沢警察署長や町長から装備品の点検など査閲と激励の言葉を受けました。交通指導隊員の村田昭子さんは「わが町から悲惨な交通事故を無くし、明るく平和な町を築くため、関係機関と一致協力し、一層の努力を続けます」と代表で決意表明を述べていました。隊員らは表情を引き締め、決意を新たにしました。

◀装備品の点検を受ける交通指導隊員たち

▶▶▶ Jan.07-2012

■ワックスキャンドル試作会

# 試作は成功、皆様のご協力に感謝



まちづくり推進委員会は、1月7日、農村環境改善センターでワックスキャンドル試作会を行いました。光をテーマにした冬のイベントの開催を見据えたものです。

函館市のNPO法人理事長の折谷久美子氏を講師に迎え、固形ワックスを溶かし、町民の皆さんから寄付いただいた牛乳パックに溶かしたワックスを流し込み、牛乳パックを冷やして回すなどの作業を行い、無事キャンドルが完成しました。キャンドルの出来は良く、今後のイベントでの活用に向けて、手応えを感じていました。

◀出来上がった190個のキャンドルを前に記念撮影

▶▶▶ Dec.26-2011

■ミニ議会

# 私たちの町の将来を真剣に考える



まちづくり推進委員会（川口弘治委員長）は12月26日、本庁舎議場で「ミニ議会」を開き、町内小学校の6年生から選抜された「議員」たち16人が参加しました。

「議長」の田中雄大くん（下田小6年）が議事を進行し、議員たちは教育・少子高齢化・防災などの行政に関する様々な分野について、普段自分たちが感じている率直な意見や要望を堂々と述べていました。中には、写真パネルを使用して質問する議員や再質問をする議員もあり、活発な議論が行われていました。

◀町長の答弁を真剣に聞く16人の議員たち

▶▶▶ Dec.27-2011

■被災された世帯へモチ配り

# きたてのモチに感謝



町と町社会福祉協議会は、12月27日、震災で被災された79世帯を訪問し、餅を配りました。住宅が半壊以上の家庭や県外などから避難してきた世帯など79世帯を訪問、この一年をねぎらい、お餅を食べて、新たな年を迎えてほしいとの願いを込めて行ったものです。

訪問された世帯の人たちは「ありがたい」、「元気がでた」などと笑顔で話していました。

◀職員に笑顔で餅を受け取る

▶▶▶ Jan.04-2012

■子どもファイン・ボール大会

# ゴールをめがけて「それっ」



子どもファイン・ボール大会は1月4日、町民交流センターで開かれ、町内から30人余りの小学生が参加しました。

ファイン・ボールはおいらせ町発祥の軽スポーツ。「体が不自由な人でも楽しめるように」と考案されたもので、町内はもちろん全国にも広まりつつあり、注目されています。

参加した子どもたちは設置されたコースを回ってスコアを競い合い、いきいきとした表情でファイン・ボールを楽しんでいました。

◀ネットをめがけボールをすくう参加者

### A班 安全避難～備蓄・設備など～

- ・避難訓練に関すること  
→町で実施する大掛かりな避難訓練ではなく、町内会単位での人の顔が見える小さな範囲での避難訓練が重要。また、家庭での避難訓練や防災会議が重要。
- ・備蓄に関すること  
→家庭での備蓄（非常食・薬品など）をしている人はどれだけのだろうか？お金はかかるが、行政で各家庭に3日分の非常食を配布するという案はどうか。
- ・情報に関すること  
→東日本大震災では、状況把握が困難だった。その時の情報を共有できるシステムを構築する必要があるのでは？

### B班 地域で守る～要援護者を守る

- ・災害時要援護者について  
→地域では要援護者に関する情報が欲しい。都会化してきて、両隣などがわかりづらいという地域もある。いきいきサロンや地区敬老会を開催しているが、そういう場所からの情報が大切。民生委員、町内会、行政で情報の共有ができれば災害時に即応できる（個人情報保護という難しさもあるが）。
- ・避難所について  
→避難所に太陽光発電設備やストーブなどの整備が必要。

### C班 子どもを守る

- ・防災教育について  
→小・中学校で避難訓練を行い、避難所や避難路を徹底して教える。避難所マップ、ハザードマップ、見守りマップを作成して啓蒙する。
- ・学校等との関係  
→子どもは直接保護者に引き渡す。日頃から学校と保護者が連絡を取り合う。保護者と保育園・幼稚園、学校との連携プレーが大事。
- ・家庭・地域で  
→防災グッズをそろえる。地域・町内会での連携。大震災を風化させないための語り手を育成し伝承していく。

#### ワークショップに参加して



#### 鈴木京子さん（八戸市）

それぞれの町内会の心のつながりに感銘を受けました。まずは自分ができることを考えて全力で子どもたちの命を守っていききたい。



#### 小笠原牧子さん（三田）

防災教育が大事ということを変更して認識しました。子どもたちにこの場で得たことを聞かせていけることがうれしいです。



▲班ごとに話し合う

### ワークショップの実施

20人の参加者が3つのグループに分かれ話し合いを行った。「安全避難～備蓄・設備など～（A班）」、「地域で守る～要援護者を守る（B班）」、「子どもを守る（C班）」について、個々で考えている課題を提案していき、それぞれを関連付けて参加者たちが道筋を導き出した。

その内容を各班ごとにまとめたものを発表。発表内容の抜粋は左のとおり。

この話し合いの結果は、町の震災復興計画や地域防災計画修正の参考にしていく。

\*ワークショップ…参加者が数人でグループを作り、テーマに沿った意見を付せん紙などに書き込んでまとめあげていく。共同作業を通じた住民参加型まちづくりにおける合意形成の手法。



▲各班の代表者が発表

このフォーラムは町で主催し、震災を契機として高まる防災意識に役立てることや町と町民とで災害に強いまちを協働でつくっていくことと実施した。地域や各団体、学校など約100人が参加し、個人や家族、地域ぐるみで震災時の対応を今一度考えていくための勉強の場となった。

講師に危機管理の専門家である鍵屋一さん（東京都）を迎え「災害に強いまちづくり」をテーマに防災にかける思いや自分たちでできる災害に対する対応の仕方などを聞いた。

また、講演の後にワークショップも行われ、参加者たちがグループとなって話し合い、テーマごとに意見を出し合った。

このフォーラムは参加者にとつて、あらためて非常時の対応について考える良い機会となった。私たちはこのフォーラムで得た情報や知識を活かし災害に強いまちづくりにつなげていくことが必要である。

# 高めよう防災意識 おいらせ町 震災復興フォーラム

おいらせ町震災復興フォーラムは12月18日、みなくる館で開かれた。約100人の参加者は、地域や自分たちで我が身を守るためのノウハウを学んだ。

## 災害に強いまちづくり

巨大地震、大津波と日本中を震撼させた東日本大震災。私たちは、自然災害から生き残るために何を考え、どんな行動をするべきか。講演の内容を要約・抜粋して紹介します。

### 岩手県釜石市東中の避難からの教訓

岩手県釜石市にある釜石東中学校は海からそう遠くはない場所にある中学校。2月下旬、震災が来る直前、近くの鶴住居小学校と共に防災訓練を行っていた。その訓練が活かされ、震災では全員が無事に避難することができた。

釜石市には作成していたハザードマップ以上の波が襲った。釜石東中学校では「想定にとらわれないこと」、「ここまでくれば大丈夫、ではなく最善を尽くすこと」、「自らが率先避難者となることで他の人も避難することや避難のイメージが身につくこと」について話し合った。つまり、防災に対して主体的な姿勢を醸成する「姿勢の防災教育」が浸透していた結果であった。

### 町内会レベルで情報を持つ

要援護者（高齢者など自力で避難できない人）を助け合って避難していくためには、東日本大震災の教訓を活かし、支援体制を行政任せにするのではなく、地域総ぐるみで進めていく必要がある。そのためには、日頃からの情報が重要になる。要援護者の情報を把握するために、町内会で各世帯をまわり、要援護者情報を作る。役場では個人情報保護の関係で提供は難しい。時間や労力が掛かってしまうが、普段からコミュニケーションを取っていくことでいざというときに活かされる。

「個人情報」は人を幸せにするために使うことを実践している地域がある。

### 要援護者を考えた避難

要援護者が安心して避難できる「福祉避難所」を整備することが第一歩。避難時、まずは「安否確認」。落ち着いてから「相談活動」を行うことである。日頃から、減災のためのプランを考え、要援護者の被害を減らすため事前の対策を一緒に考える。具体例として▼2階に寝る▼家具の下敷き防止▼水、飴玉の備蓄▼あんしん箱を用意。支援プランに基づき訓練し、その都度見直していく。

### 家族防災会議を開こう

家族のいのち、生活を守るために家族防災会議を開く。災害発生時の避難について▼就寝時▼起居時▼学校、職場▼路上——など生活シーンごとに想定をして家族間で情報を共有し対策しておく。

### まとめ

「小さい地震だから」と言っで安心するのではなく、災害イメージを高めていく訓練をする▼寝室や居間、キッチンと徐々に安全性を高めていこう▼要援護者を支援しよう▼十分な保険に入ろう▼家族・町内会・行政それぞれがトイレの備蓄をしよう▼防災組織を作ろう▼地域やマンションは運命共同体——など、各々で決めたことを少しずつでも実践していく必要がある。「最も強いものが生き残るのではない。最も弱いものが生き残るのもない。生き残るのは変化するものである。」（ダーウィンの言葉を引用）

家庭や地域での役割を十分に理解して、備えることを心掛け、防災意識を変えていくことが大切である。

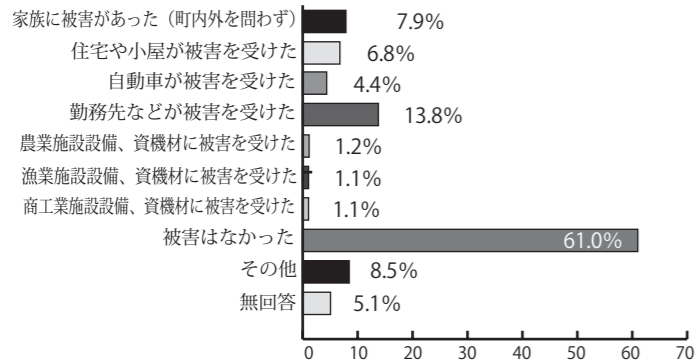


講師 鍵屋一氏  
東京都板橋区福祉部長兼危機管理担当部長。大学客員教授も兼任し文献の執筆も多数。

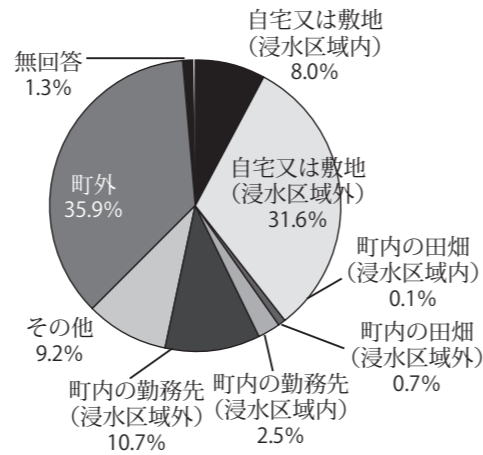
# 震災に関するアンケート調査

震災復興計画策定にあたり、町民や被災者の意見を反映させるため、住民からの意見を求める一つの手段として18歳以上の町民を無作為に2,000人抽出し、8月上旬から8月末までアンケート調査を行いました。有効回答数は751件で、その内訳は、男性44.1%、女性54.3%であり、年齢は50代以上が半数以上を占めています。回答者の小学校区別の内訳は、百石25.0%、甲洋10.1%、下田6.1%、木内々15.2%、木ノ下35.0%でした。(いずれも無回答があるため100%にはなりません)

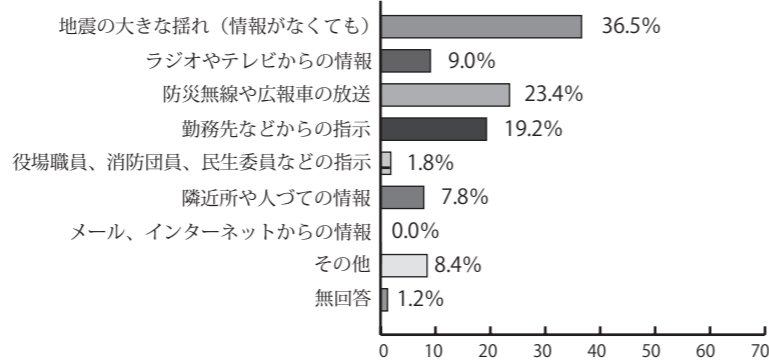
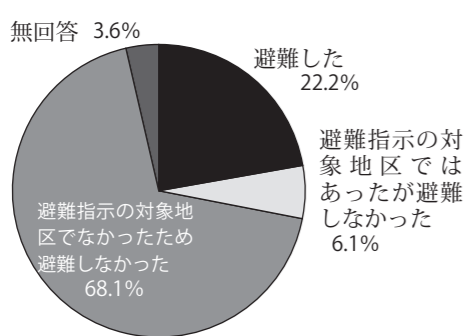
## 1 あなたは地震・津波によってどのような被害を受けましたか



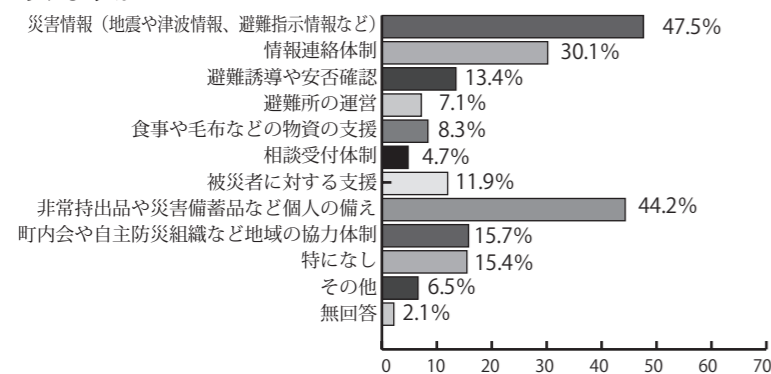
## 2 あなたは、今回の地震・津波発生時にはどこにいましたか。



## 3 あなたは、今回の地震・津波発生時に避難しましたか。 3-1 避難したと回答した方にお聞きします。何をきっかけに避難しましたか

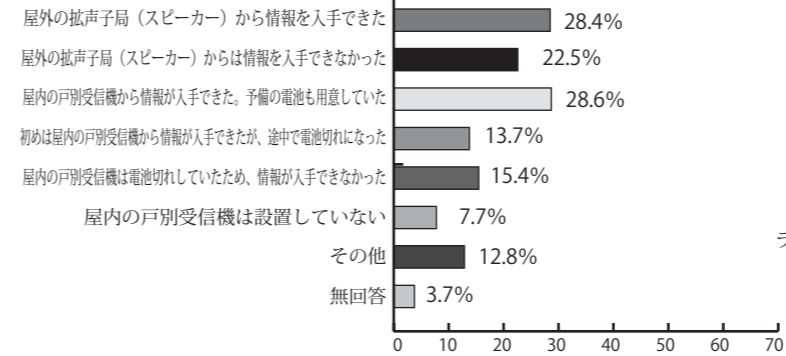


## 4 あなたは今回の震災で何か不足・不十分だったと思ったことはありますか

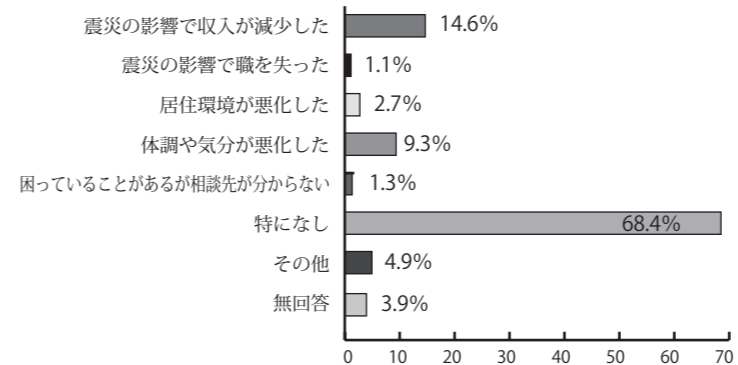


※円グラフの率の合計は100%になりますが、棒グラフは複数回答のため100%にはなりません。

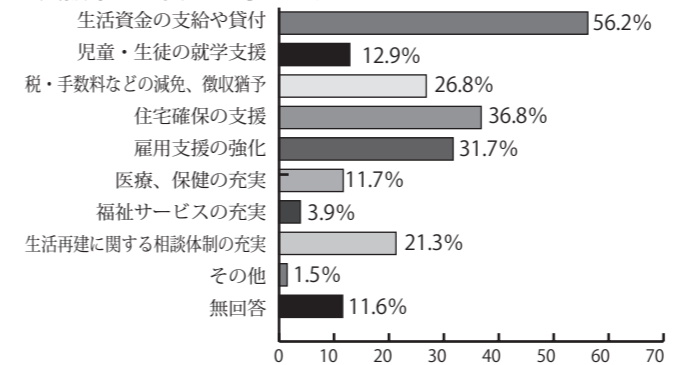
## 5 あなたは今回の地震で防災行政無線放送(屋外、屋内)は役立ちましたか



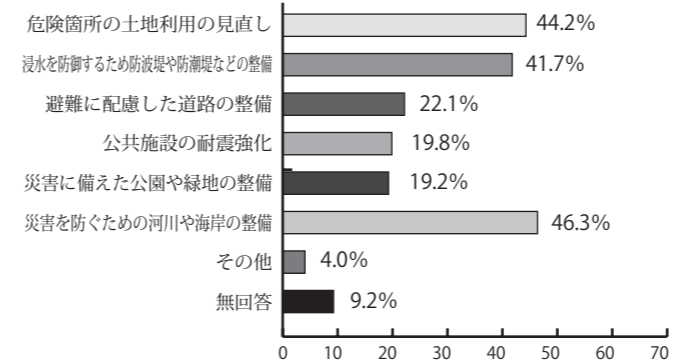
## 6 あなたは震災以降、何か困っていることがありますか



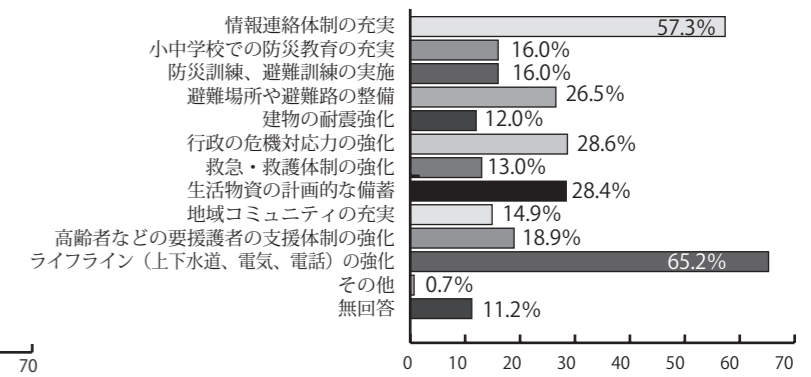
## 7 あなたは、被災した方々の生活再建を進める上で、どのような支援策が重要だと考えますか



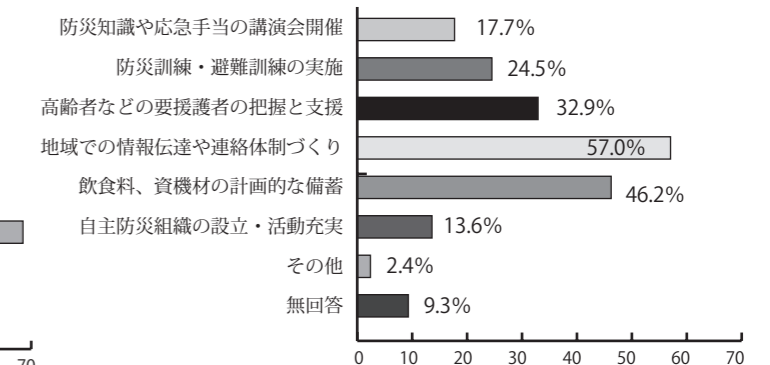
## 8 あなたは今後どのように都市整備を進めればよいと考えますか(被災地だけでなく町全体として)



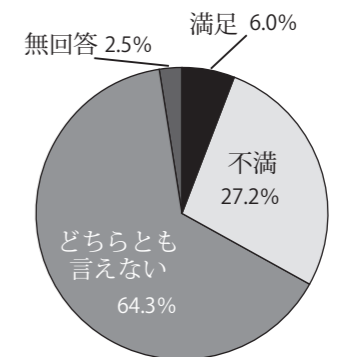
## 9 あなたは、大規模な自然災害に備えて、日頃から町全体として防災体制の強化を図る上で、どのようなことが重要だと考えますか



## 10 あなたは、大規模な自然災害に備えて、日頃から身近な地域ではどのような活動が重要だと考えますか



11 平成19年度に実施した町民意識調査においては、「地震などの災害対策への満足度」という問いに対して、満足と答えた人が11.6%、不満と答えた人が22.2%という結果でした。東日本大震災を踏まえて、町の災害対策に関してどうお感じになりましたか。



このアンケート結果を町では町民の皆さまのご意見と受け止め、集計結果を報告書としてまとめております。また、この結果は「おいらせ町震災復興計画」に反映させるとともに、今後修正する「おいらせ町地域防災計画」に反映させていただきます。

☎総務課 0178 ☎ 2166

# おいらせ町震災復興計画 概要版

## 震災復興計画策定に係る経過

震災復興計画策定にあたっては、震災復興計画策定委員会（委員長：武山泰八戸工業大学教授）を開催し、計画案の検討を7回にわたって行ってきました。また、この間に、町民から2,000人を抽出してアンケート調査を実施、被災者への聞き取り調査、小学校区単位での地区懇談会、震災復興フォーラムでのワークショップの意見、被災者懇談会、計画案に対する意見募集など、住民や被災者からの意見を広く聴取し、取り入れることに努めてきました。

町震災復興本部（本部長：成田隆町長）は、1月26日の会議において、策定委員会から答申された計画案を承認しました。今後は、この計画に沿って、災害に強いより良いおいらせ町をつくっていくことになります。

## 計画の目的

東日本大震災の被害により、おいらせ町においては、死者・行方不明者は発生しなかったものの、町民の生活・経済基盤に大きなダメージを受け、沿岸部を中心に大きな爪痕を残しました。

この災害を乗り越えるために、単なる被害からの復旧ではなく、震災によって生じた現実を受け止めた上で、おいらせ町をより良い町にするための機会と捉え、そのためのまちづくり計画として、震災復興計画を策定します。

## 計画の適用地域

おいらせ町全域とします。

## 計画の期間

おいらせ町の最上位計画である総合計画の計画期間の平成30年度まで（8年間）とし、緊急度等に応じて復興目標時期を概ね3段階に分けて取り組みを進めます。

- 短期：平成23年度（1年間）
- 中期：平成25年度まで（3年間）
- 長期：平成30年度まで（8年間）

## 復興の理念

町民が丸一となって震災からの復興を成し遂げ、総合計画に掲げる「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち」を目指すため、以下のとおり震災復興理念を掲げ、その実現に向かって計画を推進します。

### 復興の理念

**家族・地域の絆を深め、  
減災\* を目指した安全・安心のまち**

## 【町の将来像】

奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち

## 【復興の理念】

家族・地域の絆を深め、減災を目指した安全・安心のまち

### 4つの基本目標と復興計画（事業）

#### 1 住民生活の復興

- 生活資金の確保→見舞金・義援金支給、貸付金、租税の減免・徴収猶予等
- 住宅確保の支援→被災者生活再建支援、生活・経済活動復興支援助成、住宅用地の購入支援等
- 被災者の生活支援→生活・経済活動復興支援助成等
- 雇用機会の創出→被災者雇用の促進、企業誘致の推進等
- 離職者等の職業能力開発の充実→職業訓練コースの新設・拡充等
- 雇用維持対策の実施→雇用調整助成金制度等
- 健康と心のケアの支援→被災者の健康と心のケアの支援等
- 児童生徒の就学支援→保護者の負担軽減、被災した児童生徒の心のケア等
- 住民の安全と環境の保全→災害廃棄物・被災建物等の解体・運搬支援、放射線量の測定等

#### 2 産業・経済の復興

- 水産業の復興→漁船等の確保、共同利用施設の復旧、漁場環境・機能の復旧等
- 農林畜産業の復興→被災水田・施設園芸産地等の復旧、農業畜産経営再開支援等
- 農林漁業者の経営再建→農機具・資材及び漁船・漁具の再建支援、金融支援等
- 企業活動及び経営安定化の支援→金融支援等
- 経済活動の復興→生活・経済活動復興支援助成（非住家・自動車）等
- 観光による復興

#### 3 災害に強いまちづくり

- 防災計画・各種マニュアルの検証・修正
- 情報伝達体制の強化→防災行政無線整備、衛星携帯電話の導入等
- 避難所・避難路の検証と避難所運営の充実→公共施設等の防災拠点化、緊急避難所整備  
避難路の整備等
- 防災意識の啓発→防災教育推進、ハザードマップ作成配布等、
- 防災訓練の充実
- 災害に強いまちづくり→防災基本条例制定、災害時支援協定締結、町内会との連携強化  
自主防災組織・住民自治組織の結成促進と支援、食料や生活物資の備蓄、再生可能エネルギーの導入推進、海拔表示板の設置等
- 災害の記録、保存、伝承

#### 4 社会基盤の復興

- インフラの復旧→被災施設の復旧
- インフラの復興の要望→防潮堤のかさ上げと延長の要望、国道338号の避難路の確保の要望  
防潮林の再生整備の要望、百石道路と第二みちのく有料道路を避難場所として活用できるよう整備を要望等

## 重点プロジェクト

震災復興計画の基本目標である「住民生活の復興」「産業・経済の復興」「災害に強いまちづくり」「社会基盤の復興」の4本の柱それぞれ相互に関係するような大規模な事業や災害に強い新たなおいらせ町を構築していく上で強力に押し進める施策を「重点プロジェクト」としてまとめました。

### プロジェクト1 災害に強いまちづくり

防災に関する施策の基本となる事項を定めた、防災における最上位の条例となる「防災基本条例」の制定、自主防災組織や住民自治組織の結成の促進と活動への支援など地域の力の結集を通じて、災害に強いまちを築き、全ての人たちが安心して暮らせる社会を実現する必要があります。

①防災基本条例の制定 ②自主防災組織の結成・支援 ③住民自治組織の結成支援

### プロジェクト2 情報伝達体制の整備

大規模災害時においても避難所や重要な機関との情報収集伝達体制を整えるために、防災行政無線の機能や耐災害性の強化を図るとともに、衛星携帯電話を導入するなど、あらゆる手段を活用して住民への情報伝達の強化と本部・避難所間の情報収集伝達体制を構築する必要があります。

①防災行政無線の強化 ②衛星携帯電話の整備

### プロジェクト3 公共施設等の防災拠点化

大規模災害時に数日間の避難を余儀なくされた場合に、公共施設等を収容避難所として開設することになるため、公共施設等の機能をさらに強化し防災拠点化を図っていく必要があります。

①非常用電源の確保 ②非常用物資の備蓄と備蓄倉庫の設置 ③非常通信手段の整備  
④手動式の井戸水汲み上げ施設や災害用トイレの整備

### プロジェクト4 津波被害の軽減

東日本大震災で津波被害を受けた地域の土地利用の検討や高台までスムーズに避難できるような避難路の整備、浸水想定区域内に緊急避難所等の整備、また、津波の河川の遡上による越水を想定した避難所や避難路の整備などを検討する必要があります。

①防災集団移転事業の検討 ②避難路の整備 ③緊急避難所等の整備の検討

### プロジェクト5 多様な連携体制の整備

県外などの遠方の複数の自治体との間の応援協定や多様な業種の民間事業者との間の支援協定の締結や連携が必要です。

また、町内会や自主防災組織、その他の団体や機関との間で有機的に連携が図られるようなルールやマニュアル作りが必要です。

①広域的な自治体間連携 ②各事業者との連携 ③各種機関や団体との連携

\*減災・・・災害時において発生し得る被害を最小化するための取り組み。「防災」が被害を出さない取り組みであるのに対して、「減災」とはあらかじめ被害の発生を想定した上で、その被害を低減させていこうとするもの。





あなたの一票は  
かけがえのない  
大切な一票です

## 選挙時の 投票立会人 登録者を 募集します

町選挙管理委員会は▷有権者の選挙への関心▷親しみやすい投票所づくりなどを進めるため、投票立会人を募集します。興味のある人は気軽に申し込んでください。

町選挙管理委員会（総務課内）

☎ 0178 56 2166 FAX 0178 56 4364

### ●立会人の主な役割

- ① 投票の場に立ち会うこと
- ② 投票簿に署名すること
- ③ 投票箱などの送致に立ち会うこと

### ●応募資格

- ① 選挙権を持つ町民
- ② 健康で長時間にわたり立会人の仕事をできる人
- \* 特定候補者の選挙運動員、候補者の親族などは応募を控えてください。

### ●時間、場所や人数

- ① 投票立会人（投票日当日）  
時間▽7時～20時  
場所▽応募者が選挙人名簿に登録されている投票区の投票所  
人数▽各投票所とも3人
- ② 期日前投票立会人  
時間▽8時30分～20時  
場所▽本庁舎内の期日前投票所  
人数▽1日あたり2人

\* 期日前投票の期間は「告示日の翌日から選挙執行日の前日まで」です。選挙によって期間は違います。

### ●報酬など

- ① 投票立会人（投票日当日）  
報酬▽日額1万7000円

### ●交通費▽支給なし

- ② 期日前投票立会人  
報酬▽日額9,500円  
交通費▽条例で定めた金額  
食事▽夕食付き（昼食各自）  
\* 報酬から所得税が源泉徴収されます。

### ●応募方法

町選挙管理委員会または町ホームページにある申込用紙で3月2日④までに申し込んでください。  
はがきやファクスで申し込むこともできます。この場合「投票立会人希望」と明記し、▽住所▽氏名（ふりがな）▽生年月日▽電話番号▽党派（なければ「無所属」）を記入してください。  
受領後に審査し、立会人予定者名簿に登録します。

### ●有効期限

登録から1年間

### ●選任方法

選挙が執行される時、当日の都合などを確認してから依頼します。応募者が多い投票区は、抽選で立会人を決定します。また、所属政党の条件や行政区ごとの人数調整により、選任されない場合があります。

2月15日～17日開催

## 百石えんぶり

春をよぶ百石えんぶりがいよいよ始まります。勇壮な太夫の摺り、子供たちの祝舞いで豊年満作を祈願します。役場本庁舎、分庁舎、おいらせ病院でも披露しますので、それぞれの会場へお越し下さい。

日程	時間	内容
2月15日 (水)	9時30分～	若宮八幡宮で奉納摺り ①豊年②竹の子舞③松の舞④田植え⑤よろこび舞⑥大黒舞 ⑦恵比寿舞⑧畔止め
	10時～	法運寺
	10時20分～	カワヨビル(上明堂)駐車場
2月16日 (木)	9時～	おいらせ町役場分庁舎周辺 門付け
	14時00分～	おいらせ病院 門付け
2月17日 (金)	10時40分～	八戸えんぶり一斉摺り参加
	13時30分～	おいらせ町役場本庁舎 門付け

※天候により時間が若干変わることがあります。

### 八戸えんぶり一斉摺り見学バスツアー企画 ～百石えんぶり組を応援に行こう～

2月17日に行われる「八戸えんぶり一斉摺り」に参加する百石えんぶり組を応援するため見学者を募集します。バスを配車しますので、2月10日④までに生涯学習課へ電話で申し込み下さい。（住所・氏名・電話番号）

#### ◆行程

- 8:30 集合・出発／おいらせ町役場本庁舎
- 9:00 現地到着（まつりんぐ広場でえんぶり見学）
- 10:40 えんぶり一斉摺り見学  
（八戸市庁前広場で各自昼食）
- 12:30 集合・出発／八戸市庁前
- 13:00 到着・解散／おいらせ町役場本庁舎
- 13:30 役場本庁舎 門付け

生涯学習課 ☎ 0178 56 4276

### 郷土芸能トピックス



木ノ下町内会（澤上勝会長）の有志達が、1月8日、木ノ下ふれあい館で、40年ほど前に廃れていた「木ノ下神楽」を披露しました。地域住民は大きな拍手を送り、神楽の復活を祝いました。木ノ下神楽のルーツは、「木ノ下の獅子舞」として下田町誌にわずか数行に記載されているだけでその詳細は詳しく残っていません。練習を始めてまだ3ヶ月ほどですが、今後の活動が期待されます。

国民健康保険・後期高齢者医療制度からのおしらせ

24年4月から「認定証」などを提示すれば窓口での支払が一定額にとどめられます

これまでは高額な外来診療を受けたとき、ひと月の窓口負担が自己負担限度額以上になった場合でも、いったんその額をお支払いいただいていたが、4月1日から限度額を超える分を窓口で支払う必要がなくなります。



《注意すること》  
 ・病院ごとの計算となります。(21,000円以上)  
 ・同じ病院でも、歯科・入院・外来はそれぞれ別計算となります。  
 ・食事代や保険のきかないもの(ベットの差額等)は対象外です。

《注意すること》  
 ・食事代や保険のきかないもの(ベットの差額等)は対象外です。

◆受診の手順

- ①国保、後期高齢者医療など、ご加入の医療保険に、事前に認定証を申請します。
- ②病院・薬局などに認定証を提示します。これにより窓口支払いが一定上限額までとなります。  
 ※窓口の支払いの上限額(月あたり)は、所得に応じて異なります。  
 ※病院、薬局などひとつの医療機関ごとにそれぞれの上限額となります。  
 それにより、高額療養費の支給申請が必要な場合もあります。

◆高額療養費の自己負担限度額

70歳未満の人

所得区分	3回までの限度額	4回目以降の限度額
一般	80,100円+(総医療費-267,000円)×1%	44,400円
上位所得者	150,000円+(総医療費-500,000円)×1%	83,400円
住民税非課税世帯	35,400円	24,600円

70歳以上の人

所得区分	外来(個人単位)	外来+入院(世帯単位)
一般	12,000円	44,400円
現役並み所得者	44,400円	80,100円+(総医療費-267,000円)×1% 4回目以降は44,400円(過去12ヶ月以内)
低所得者Ⅱ	8,000円	24,600円
低所得者Ⅰ	8,000円	15,000円

◆事前に手続きが必要な人

高額な外来診療受診者	事前の手続き	病院・薬局などで
70歳未満の人	加入する医療保険に「認定証」(限度額適用認定証)の交付申請	保険証
70歳以上の非課税世帯の人		認定証
70歳以上で非課税世帯ではない人	必要ありません	保険証 高齢受給者証

◆認定証を提示しない場合は…

「認定証」を提示しない場合は、高額療養費の支払いは従来どおりの手続きになります。(高額療養費の支給申請をすると、後日、ご加入の医療保険から支給されます)

◆申請窓口 環境保健課(分庁舎1F)、町民課(本庁舎1F)(国保・後期以外の方はご加入の医療保険へ申請)

◆必要なもの 認印、保険証

高額医療・高額介護合算制度を利用できます

医療保険と介護保険の限度額を適用後、両方を合わせ、右の表の額を超えたときは、超えた分の金額が支給されます。対象費用や所得区分など、詳しい内容は気軽に問い合わせてください。

●年額の期間 8月1日から翌年7月31日まで

●申請場所 環境保健課、町民課

※基準日(7月31日)に、国保・後期高齢者医療制度以外の保険に加入していた人は、加入していた医療保険へ申請

●申請に必要なもの

保険証(国保または後期と介護保険の両方)、認印、通帳

●合算した場合の限度額

年齢	所得区分	合算時の限度額
70歳未満	一般	67万円
	上位所得	126万円
	住民税非課税世帯	34万円
70歳以上	一般	56万円
	現役並み所得者	67万円
	低所得者Ⅱ	31万円
	低所得者Ⅰ	19万円

●その他 後期高齢者医療制度に加入されている人で、支給対象となる人へは、個別に通知されます。なお、支給対象となる世帯でも、その世帯に転入者があった場合は通知がなされない場合があります。心当たりのある人は気軽に問い合わせてください。

環境保健課 国民健康保険、後期高齢者医療制度係 ☎0178-56-4218  
 その他の被用者保険に加入している方は、ご加入の医療保険に直接お問い合わせください。

平成23年分の所得申告を受け付けます

町は2月14日から所得申告を受け付けます。所得税の確定申告だけでなく、町・県民税や国民健康保険税などの課税、保育料などを算定するための資料になります。忘れずに申告してください。



会場 本庁舎 201会議室  
 時間 9時から16時まで  
 (休憩時間/12時~13時)  
 国税務課 ☎0178-56-4704

23年中の収入がなくても、申告は必要です。  
 受付期間を過ぎると、役場で所得税の確定申告はできなくなります。また、青色申告の人や株式の譲渡所得、先物取引による所得がある人、相談内容が複雑な人は受け付けできません。その場合は十和田税務署などに申告してください。  
 日曜日はとても込み合います。できるだけ地域ごとの受付日に申告してください。  
 詳しい内容は広報おいらせ1月号を確認してください。

月	日	申告を受け付けする地域
2月	14	根岸、黒坂、住吉町、曙、奥入瀬団地、芦野団地
	15	堀切川、川口、三田、三田団地、染屋
	16	明神下、横道、青葉
	17	洋光台、緑ヶ丘
	19	町内全地区
	20	一川目一丁目、中野平、苗振谷地、向坂
	21	一川目二~三丁目、若葉
	22	一川目四丁目、三本木、鍋久保
	23	深沢、三本木、新敷
	24	日ヶ久保、間木、木崎
3月	27	二川目一~二丁目、本村
	28	二川目三丁目、鶉久保
	29	二川目四丁目、向山
	1	藤ヶ森(下屋敷)、豊原、錦ヶ丘
	2	藤ヶ森(後田、下明堂、新助川原)、木ノ下、苔米地
	4	町内全地区
	5	藤ヶ森(牛込平、苗平谷地)、木ノ下、苔米地
	6	本町一~五丁目、八幡町、中央町、秋堂
	7	本町六丁目、下前田、洗平、豊栄
	8	肴町、大工町、阿光坊
3月	9	七軒町、新町、木内々、有楽町
	12	上新町、木内々、有楽町
	13	町内全地区
	14	町内全地区
	15	町内全地区

2月の納税相談日

日中お仕事などで税金の納付や相談が困難な皆さんを対象に、夜間と休日に納税相談日を設けております。開設時間内であれば各種税金を納めることができます。お気軽にご利用ください。

	日程	会場
夜間納税相談 [17:00-20:00]	7日④	本庁舎(税務課)
	21日④	
	14日④	分庁舎 (分庁サービス課)
28日④		
*休日納税相談 [8:30-17:00]	5日⑤	本庁舎(税務課)

◎国民健康保険税第7期、介護保険料7期、後期高齢者医療保険料7期の納期限である1月31日④で、平成23年度の町税等のすべての納期が終了します。納め忘れがないか、いま一度納付書を確認してみましょう。

口座振替にすると手間が掛からず、納め忘れもありません  
 国税務課 ☎0178-56-4704

**パソコン操作を基礎から学ぼう**

パソコン、インターネットの操作などを、4人のITサポーターが基礎から丁寧に教えます。料金は無料。参加希望者は事前に電話で予約してください。



- **申込受付** 2月6日⑨～
- **定員** それぞれ先着10人
- **場所** 町民交流センター2F

**2月からの講習会**

レッスン	日時
①メール1	2月14日④ 13:30-15:30
②ワード中級4	2月14日④ 9:30-11:30
③メール2	2月15日⑥ 13:30-15:30
④エクセル中級4	2月16日⑥ 13:30-15:30
	2月21日④ 9:30-11:30
⑤パソコン初歩4	2月23日⑥ 18:00-20:00
	3月6日④ 9:30-11:30
⑥ツイッター	2月21日④ 13:30-15:30
	2月29日⑥ 13:30-15:30
⑦携帯メール	2月22日⑥ 13:30-15:30
	3月9日⑥ 13:30-15:30
⑧ホームページ作成	2月23日⑥ 13:30-15:30
⑨エクセル初歩5	2月28日④ 9:30-11:30
⑩PC初歩3	2月28日④ 13:30-15:30
⑪画像処理3	3月1日⑥ 13:30-15:30
⑫リクエスト講習会 リクエストの多い講習会を行います	3月2日⑥ 13:30-15:30
	3月7日⑥ 13:30-15:30
	3月13日④ 13:30-15:30
	3月14日⑥ 13:30-15:30
⑬インターネット2	3月6日④ 13:30-15:30
⑭インターネット3	3月8日⑥ 13:30-15:30
⑮インターネット ショッピング	3月13日④ 18:00-20:00
⑯ペイント講習	3月15日⑥ 13:30-15:30

町民交流センター ☎ 0178 9921

この講習会は青森県IT利活用サポート事業を活用して実施しています

**募集します**

**国保おいらせ病院運営審議会委員を募集**  
 国保おいらせ病院 ☎ 0178 3111  
 この審議会は、町長が病院の運営に関し必要な事項を諮問するために設置しています。  
 ● **任期** 平成24年5月1日～平成26年4月30日  
 ● **募集人数** 2名以内  
 ● **申込締切** 2月20日⑨  
 ● **応募資格**  
 ① 町民または町内に勤務する18歳以上の人

**募集します**

**総合計画審議会委員を募集**  
 町では21年度に策定した「第1次おいらせ町総合計画(前期計画)」の評価点検とともに、後期基本計画(平成26～30年度)の策定作業を、住民と議会、行政が一体となって、進めるため、  
 ● **応募方法** 病院に備え付けの指定の用紙で申込んで下さい。  
 ● **応募資格** 町民でない人  
 ● **募集期間** 平成24年3月～平成26年3月までの2年間(年5～6回開催)  
 ● **応募資格** 本計画に関心があり、①～③の全ての条件を満たす人  
 ① 町内在住で20歳以上の人(24年4月1日現在)  
 ② 平日の日の中の会議にも自力で出席参加できる人  
 ③ 町の議会議員または職員でない人

**募集します**

**家族そろって加入しましょう**  
 ● **応募方法** 指定の申込書に「おいらせ町のまちづくり(約400字)」、必要事項を書き、企画課へ提出してください。申込書は企画課、町ホームページから入手可。提出方法は次のいずれかです。  
 ① 郵送または持参  
 ② ファクス(0178 4364)  
 ③ Eメール (furusato@town.oirase.aomori.jp)  
 ● **募集期間** 2月1日⑨～2月29日④  
 ● **選考方法** 書類選考し、結果を本人へ通知します。

**募集します**

**赤十字**  
 赤十字への協力を願う各家庭を訪問します  
 赤十字 0178 4705  
 2月は青森県赤十字社員増強・社資増収運動月間で、日本赤十字社青森県支部は▼災害救助事業▼赤十字奉仕団のボランティア活動

**赤十字**

**交通災害**  
 1日1円の掛け金で交通災害共済に加入を  
 交通災害共済は、国内ならどこで交通事故に遭っても慰金や見舞金を受けられます。自動車事故はもちろん、自転車でのけがにも

**交通災害**

**家畜関係**  
 鶏など飼養羽数の定期報告が義務付けに  
 高病原性鳥インフルエンザの発生などを踏まえ、家畜伝染予防法がこのほど改正されました。これにより、鶏などの飼養者(100羽未満の小規模飼養者を含む)は県に報告することが義務付けられました。養鶏産業に大きな被害を及ぼすことが懸念されますので、定期報告について、次により報告書の提出をお願いします。

**家畜関係**

災害の程度	等級	共済金額
死亡したとき	1	100万円
実治療日数 180日以上	2	15万円
90日以上 180日未満	3	13万円
60日以上 90日未満	4	11万円
30日以上 60日未満	5	8万円
10日以上 30日未満	6	6万円
10日未満	7	4万5千円
	8	3万5千円
	9	2万5千円
	10	2万円

**家畜関係**

**家族そろって加入しましょう**  
 ● **報告方法** 定期報告書の様式及び提出先については十和田家畜保健衛生所または町農林水産課にお問い合わせください。  
 ● **報告期日** 毎年3月31日まで  
 ● **問い合わせ**  
 十和田家畜保健衛生所 ☎ 0176 6235  
 町農林水産課 ☎ 0178 4279

**相談窓口**

**町民相談**  
 日時 2月8日④ 10時～15時  
 場所 中央公民館  
 相談員 柏崎良子  
**行政相談**  
 日時 2月19日⑨ 10時～15時  
 場所 東公民館  
 相談員 中村廣美  
 ☎ 0178 3848

**相談窓口**

**家畜関係**  
 救急法などの普及活動など、さまざまな活動を展開しています。また、東日本大震災被災者の長期的な支援活動はもとより、新たな災害の発生に備えた防災体制の強化活動や地域ボランティア活動の拡充など、活動の更なる推進と拡充が求められています。これらの活動に使われる経費のほとんどは皆さんからの社資でまかなわれています。これらの活動を応援する「社員」には、社資を出資すれば誰でも加入できます。行政連絡員が各家庭を訪問しますのでご協力をお願いします。皆さん一人一人の気持ちで、地域の幸せを生み出す力になります。

**家畜関係**

**家族そろって加入しましょう**  
 適用されます。2月1日から来年度の申し込みを受け付けます。町内会などで団体加入もできます。気軽に申し込んでください。  
 ● **会費** 1人350円  
 ● **共済期間** 24年4月1日から25年3月31日まで  
 また、今回から確定申告会場でも、2月14日から3月15日まで受け付けすることができまますのでご利用ください。

**家畜関係**

**家族そろって加入しましょう**  
 ● **報告方法** 定期報告書の様式及び提出先については十和田家畜保健衛生所または町農林水産課にお問い合わせください。  
 ● **報告期日** 毎年3月31日まで  
 ● **問い合わせ**  
 十和田家畜保健衛生所 ☎ 0176 6235  
 町農林水産課 ☎ 0178 4279

**家族葬会館** おいらせ町一川目一丁目 73-1796

葬儀用品祭壇備えつけ及びお棺・骨箱・塔婆・下駄・草履・ローソク・せんこうなど葬儀に使用する品物一切が20万円でサービスします。(霊柩車・バス代は別料金)北浜葬儀センターの事業区域は、おいらせ町全域です。

有限会社 **北浜葬儀センター** おいらせ町二川目四丁目 73-1468 ☎ 0178-53-2614

会館使用料は2日間で1万円

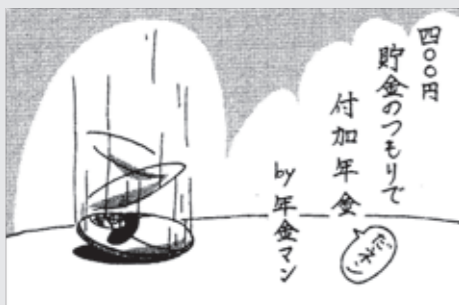
ごみは夜出さず、収集日の朝8時までにし出して下さい。ペットボトルのキャップやラベルははずして下さい

町内会	有楽町/阿光坊/本村/新敷 錦ヶ丘/洗平	住吉町/若葉/青葉/緑ヶ丘 鍋久保/木ノ下/豊栄/豊原 向山/苔米地/洋光台/根岸 黒坂/深沢/一川目/二川目	鍋久保/三本木/三田/間木/曙/ 木内々/染屋/木崎/秋堂/中野平/ 苗振谷地/向坂/本町地区/くるみ団 地/藤ヶ森/いちよう団地/堀切川/ 川口/明神下/横道/日ヶ久保
燃えるごみ	毎週月・木曜日		毎週火・金曜日
燃えないごみ	2月24日⑤	2月28日④	2月27日⑨
資源ごみ	缶・プラスチック 2月1日④ プラスチック 2月15日④	紙 2月8日④ びん 2月22日④	
粗大ごみ	2月10日⑤・24日⑤ ★有料予約制/1週間前までに申込みが必要です		

祝日も収集します ☎環境保健課 TEL 0178-56-4218

# 国民年金マン

付加年金で年金受給額を増やそう  
 ~ 国民年金第1号被保険者限定 ~



監修/ Yuichi.K 絵/ Ryo.O

付加年金とはどのようなものですか？  
 付加年金は、国民年金第1号被保険者（自営業や学生など）の独自給付とされています。毎月の国民年金保険料に付加保険料（月額400円）を加算して納付すると、老齢基礎年金に付加年金が上乘せされます。  
 (付加年金の年金額 = 200円 × 付加保険料納付月数)  
**【例】** 付加保険料(200円)を10年間納付した場合  
 付加年金の年金額  
 = 200円 × 10年 × 12ヶ月 = 24,000円  
 注意：国民年金保険料の納付期限が過ぎていたり年金基金に加入している方は付加保険料の納付ができません。

ねんきんダイヤル ☎ 0570-05-1165

日本年金機構八戸年金事務所 ☎ 0178 4 1742  
 町民課 ☎ 0178 56 2246



場所	日時	行事内容	
三田 保育園 ☎ 0178 56-2008	1Ⓢ 10:00~11:00	手作りおもちゃで遊ぼう (南部児童センター)	
	7Ⓢ 10:00~11:00	手作りおもちゃで遊ぼう (北部児童センター)	
	8Ⓢ 10:00~12:00	体験保育 (2歳クラス)	
	14Ⓢ 10:00~12:00	ハンドメイドクラブ (チョコ作り)	
	15Ⓢ 10:00~11:30	よちよちひろば (わらべうたベビーマッサージ)	
	16Ⓢ 10:00~12:00	体験保育 (1歳クラス)	
	20㊦ 10:00~11:30	スクラップブック作り	
	21Ⓢ 10:00~12:00	体験保育 (0歳クラス)	
	23Ⓢ 10:00~11:30	育児講座 (ヨガ教室)	
	24Ⓢ 10:00~12:00	ハンドメイドクラブ (おひな様製作)	
	28Ⓢ 10:00~11:30	親子クラブ (おひな様製作)	
	3Ⓢ、10Ⓢ、17Ⓢ 10:00~12:00	たんぼぼクラブ	
*詳しい内容は「たんぼぼつうしん」をご覧ください			
錦ヶ丘 保育園 ☎ 0178 56-4051	3Ⓢ 10:00~11:30	豆まき会	
	9Ⓢ 10:00~11:30	ピヨピヨサークル	
	17Ⓢ 10:00~11:30	ハートクラブ (木ノ下児童館)	
	21Ⓢ 10:00~11:30	すくすくクラブ (北部児童センター)	
	22Ⓢ 10:00~11:30	給食体験	
	*詳しい内容は「びよびよつうしん」をご覧ください		
菜の花 保育園 ☎ 0176 53-8670	4Ⓢ 14:00~15:30	わくわくサークル (親子リズムあそび)	
	14Ⓢ 10:30~11:00	親子ふれあいあそび (北部児童センター)	
	28Ⓢ 10:30~11:00	アンパンマンおもちゃ作り (北部児童センター)	
	10Ⓢ 10:30~11:00	おもちゃ作り (木ノ下児童館)	
	24Ⓢ 10:30~11:00	紙芝居作り (木ノ下児童館)	
	4Ⓢ、18Ⓢ 10:00~11:30	保育体験	
	*詳しい内容は「わくわくつうしん」をご覧ください		
	2Ⓢ 10:00~11:30	豆まき	
	7Ⓢ 10:00~12:00	おしゃべりサロン・給食体験	
	9Ⓢ 10:00~12:00	はんど&はあと	
10Ⓢ 10:30~11:30	マタニティほんわかルーム		
あゆみ 保育園 ☎ 0178 52-2206	14Ⓢ 10:00~11:30	お誕生会 (12月~3月生)	
	16Ⓢ 9:30~12:00	おいらせクロパ	
	20㊦ 10:00~11:00	まんまるサークル (北部公民館)	
	21Ⓢ 10:00~11:30	ひなまつり	
	22Ⓢ 10:00~12:00	ヨガ教室 (あゆみの里)	
	28Ⓢ 10:00~12:30	親子でお料理~飾りずし~ (いきいき館)	
	*詳しい内容は「きらら通信」をご覧ください		

## 元気いっぱい 児童館・なかよし教室活動

### もちつき大会 (向山児童館) 1月7日



参加した児童たちは、重い杵を大人に支えられながらも元気良く振り下ろして餅をつき、出来立ての餅を地域の人たちと一緒にいただきました。

### 昔の遊び体験会 (甲洋なかよし教室) 1月7日



参加した児童たちは、ヒモを使った遊びやコマ回しなど、地域の高齢者から道具や体を使った当時の遊びを教してもらい、みんなで楽しみました。

### クッキングもちつき (木ノ下児童館) 1月11日



参加した児童たちは、地域の人たちと交流し、餅つきと雑煮作りで楽しみました。つきたての餅で作った雑煮を皆で一緒にいただきました。

各児童館や甲洋なかよし教室では、様々な活動を行っています。児童館はお住まいの地区ごとの加入、なかよし教室は甲洋小児童の加入です。加入したい人は各児童館、なかよし教室は町生涯学習課へ問い合わせてください。

## 町健康づくり講座を開催します

### 1 医師による健康講座

健康で元気に長生きするために、専門家から学んでみませんか？参加は無料です。

●日時 2月15日(木) 13時~15時30分

●場所 おいらせ町東公民館 (2階ホール)

●内容 講演、質疑、意見交換  
 13:00~14:00 「放置していませんか？歯の欠損 ~いつまでも食べる幸せ噛みしめて~」

木村歯科医院院長 木村英敏 歯科医師

14:00~15:30 「脳の病気 (脳梗塞、脳内出血、認知症 etc) ~危険なサインとその予防~」  
 はちのへ西脳神経クリニック院長 真鍋宏 医師

●申込み期限 2月10日(金)

### 2 健康栄養講座

細菌やウイルスから身を守るのに大切なのは免疫力です。この冬は、免疫力アップの食事で丈夫な身体作りをしませんか？

●日時 (ともに10時~13時)

① 2月23日(木) 「減塩しながら免疫力アップ」  
 ② 3月8日(木) 「マクロビオティック~野菜が主役のヘルシーレシピ~」

●場所 おいらせ町いきいき館 (栄養実習室)

●内容 調理実習、町栄養士と保健師による講話

●持ち物 エプロン、三角巾、米一合、材料費300円

●申込み期限 それぞれ開催の1週間前までに

申込み・問合せ 環境保健課 0178 56 4218

■本展示

一般◎「友達の本」

世界友情の日（2月22日）にちなんで。友情をテーマにしたドキュメンタリーや小説など。

児童◎「おいしいおはなし」

料理（お菓子）をテーマにしたおはなし。

■読み聞かせ会

（図書館あそぼっと）MOMOおはなしの会

2月11日④、25日④ 14時から

（北公民館）おはなし会杉の子

2月18日④ 10時から10時30分まで

■幼児のための読み聞かせ（図書館あそぼっと）

2月23日④ 10時30分から

■2月の休館日

6日⑤、13日⑤、20日⑤、27日⑤

3月15日～19日は蔵書点検のため休館

岡町立図書館 ☎0178 3900

社会教育関連の各種委員を公募します

●募集する委員

- ①社会教育委員
- ②公民館運営審議会委員
- ③図書館協議会委員
- ④文化財保護審議会委員
- ⑤スポーツ推進審議会委員



●募集人数 各2人程度

●募集期間 2月13日⑤～27日⑤までの2週間

●任期 今年4月1日からの2年間

●報酬 会議出席時は、町規程により報酬を支給します

●応募資格

- ①町民または町内に勤務する18歳以上の人
- ②既存の審議会などの委員でない人
- ③町の社会教育事業に参加している人、または興味関心のある人

●応募方法

指定の申込書で申し込んでください。申込書は生涯学習課、スポーツ振興課、図書館、各公民館に備え付けています。

●申し込み・問い合わせ

- 生涯学習課 スポーツ振興課  
☎0178 4276 ☎0178 4259

図書館おすすめの本を紹介します。



水の樞

一般書

道尾秀介 著

自分が「普通」で退屈なことを嘆く中学2年の逸夫と、両親が離婚し級友からいじめを受け「普通」を欲する敦子。あるきっかけで言葉を交わすようになったふたりだが、敦子には秘めた決意があった…。



夢違

一般書

恩田陸 著

ある日、夢を解析する「夢判断」を職業とする浩章のもとに、奇妙な依頼が舞い込む。各地の小学校で頻発する集団白昼夢。狂乱に陥った子供たちの「夢札」を視た浩章は、そこにある符号を見出す。



かわいそうだね？

一般書

綿矢りさ 著

彼氏が元カノを居候させだしたり、美人の親友にいつも隣に並べられたり、女ってほんとに厄介。誰もが心に押しこめている本音がこぼれる瞬間をとらえた2篇を収録。

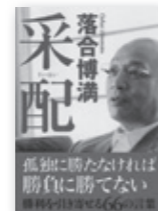


だんじり母ちゃんとあかんたれヒロコ

一般書

コシノヒロコ 著

お調子者で男前、気がいいけど寂しがり、心は誰より乙女ちゃん…。世界的デザイナー・コシノ3姉妹を女手ひとつで育てた愛すべき「お母ちゃん」の人生を、長女ヒロコがはじめて語る。



采配

一般書

落合博満 著

邪念を振り払い、今この一瞬に最善を尽くす。監督の采配とは、ひと言で言えば、そういうものだと思う。落合博満が勝利を引き寄せる66の言葉を紹介。8年間、中日ドラゴンズの監督として生きた思いをありのままに明かす。

ほかにも新着を取りそろえています

プリズム（百田尚樹）／あつあつを召し上がれ（小川糸）／星やどりの声（朝井リョウ）／帝王、死すべし（折原一）／ヒア・カムズ・ザ・サン（有川浩）／救命（海堂尊）／ヤミーさんのリレー料理（ヤミー）／MOCO'Sキッチン（速水こみち）／私の遺品お願いします。（吉田太一）ほか

★12月から図書館のホームページで本の検索予約ができるようになりました。  
詳しくは、下記アドレス・図書館へお問い合わせください。  
<http://www.lib-oirase-aomori.jp/>

岡町立図書館 ☎0178 3900

白鳥の家

文／文化財保護審議会委員  
津曲隆信



皆さんは「白鳥の家」をご存じですか？間木堤の側に木に囲まれて目立たないように建てられています。玄関を入るとロジ風の展望室になっていて、湖面が一望できる広い窓辺にはあらゆる方向が観察できるように8台の望遠鏡が設置されています。

夜間は閉館していますが、天体観察やホタルの観察、ミニコンサートなどアイデアを出し合えば、ますます楽しい活動の拠点になりそうです！

スポーツ少年団紹介

Oirase Junior Sports Club

File 2 百石スポーツ少年団ミニバス女子

（田村恒行代表、団員11人）

私たちはバスケットボールが好きな2年から5年生の女子で活動しています。

練習場所は百石小学校体育館。週5回（火・木・金・土18:30-20:30）、（日9:00-か13:00-）練習をしています。

いつも仲良く、練習は一生懸命に、また、試合に勝てるようにメンバー全員で力と心を合わせて頑張っています。一緒に活動する仲間を募集していますので、気軽に見学・問い合わせしてください。



●問い合わせ 父母の会会長 田村  
☎090-2604-2252

『走る！踊る！ロボット作り体験～タワシで動くロボットを作ろう！』

～出前講座～in おいらせ町～

タワシとモーターで動き回るタワシを使ったロボット『タワシ君』作りに挑戦！いろいろな装飾をし、オリジナルのロボットを作ってみませんか？

日時 3月3日④ 9:30-12:00

対象 小学1-6年生

場所 みなくる館

参加費 一人300円（材料代）

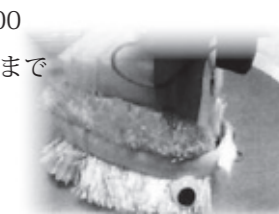
定員 20名（申込先着順となります）

講師 お楽しみ科学実験出前屋 萌出浩氏

申込み 下記問合せ先へ電話で申し込んで下さい。

平日8:40-17:00

募集〆切 2月24日④まで



岡町立図書館 ☎0178 3900

みなさんのお役にたちます 宝くじ

宝くじ助成金は宝くじの売上金を元にしたものです。地域を活性化する事業などに使われます。

このほど住吉、二川目町内会は、宝くじ助成を使い歩道除雪機などを購入。地域で自主的な除雪作業を展開しようとしています。また、向山町内会は集会所を新築しました。

来年度の事業申請は終わりましたが、申請方法や対象事業などの相談は随時受け付けします。気軽に問い合わせてください。



企画課 ☎0178 4701

- 西館尚史くん (司・こずえ) 木内々
- 橋本漆ちゃん (稔・綾花) 木ノ下
- 廣瀬柚香ちゃん (康行・麻梨子) 一川目
- 松林月唯ちゃん (克寿・佳奈子) 木ノ下
- 小田桐有希くん (明義・みどり) 鶉久保
- 成田心くん (武之・信子) 苗振谷地
- 熊谷英航くん (年行・志穂) 青葉
- 平野梨々花ちゃん (宝敬・由利子) 二川目
- 小向明日香ちゃん (高梯・絵美) 洋光台

## 戸籍の窓

12月に届け出し、掲載を希望した人を載せています。

◆ こんにちは赤ちゃん

9件/届出12件

- 中坂通利 4件/届出5件
- 袴田笑美子
- 蝦名進治
- 清水瑛莉香
- 川口明生
- 若宮洋美
- 工藤郁弥
- 岩沢利恵
- 水島寒五郎
- 木村英夫
- 梅村弘
- 佐藤貞雄
- 横向藤次郎
- 川口博美
- 山本文一
- 川口嘉英門
- 高谷弘
- 苦米地キウ
- 成田タマ
- 松本ハルエ
- 張田重藏
- 松本トキ
- 中村一雄
- 瀧岡清治
- 澤頭清仁
- 千葉榮子

## 結婚おめでとう

## お悔やみ申し上げます

- 奥入瀬団地 18件/届出21件
- 藤川目 83歳
- 若葉目 80歳
- 藤川目 70歳
- 藤川目 80歳
- 藤川目 79歳
- 藤川目 77歳
- 藤川目 74歳
- 藤川目 93歳
- 藤川目 95歳
- 藤川目 85歳
- 藤川目 75歳
- 藤川目 79歳
- 藤川目 63歳
- 藤川目 90歳
- 藤川目 42歳
- 藤川目 58歳

# お知らせ健康カレンダー

日・曜	行事名	時間	場所	備考
1 ㊦	認知症予防教室	9:30-12:00	北公民館	
2 ㊦	健診結果説明会 転倒予防教室	受け付け/ 15:00-15:30 9:30-12:00	北公民館 のびのび館	健診の結果を必ず持参してください 理学療法士の運動指導
3 ㊤	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
4 ㊦				
5 ㊦				
6 ㊦	健口栄養講座	9:30-13:00	いきいき館	対象*口の栄養に関心がある65歳以上の人
7 ㊦	リハビリ健康相談 1歳6カ月児健康診査 転倒予防教室	9:30-11:00 受け付け/ 12:30-12:45 9:30-12:00	いきいき館 いきいき館 北公民館	理学療法士のリハビリ指導、保健師の健康相談 対象*平成22年7月生まれの子ども 理学療法士の運動指導
8 ㊦	2~3カ月健康相談 乳幼児健康相談	受け付け/ 10:00-10:30 受け付け/ 13:00-13:30	いきいき館 いきいき館	対象*平成23年11月生まれの子ども 対象*年齢は問いません
9 ㊦	冬場の運動不足解消教室 転倒予防自主トレーニング 転倒予防教室	13:30-15:00 10:00-11:30 9:30-12:00	みなくる館 老人福祉センター のびのび館	理学療法士の運動指導
10 ㊤	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
11 ㊦				
12 ㊦	愛の献血	10:00-16:00	イオンモール下田	
13 ㊦	オトコの運動講座	14:00-15:30	いきいき館	1月号P16参照
14 ㊦	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、保健師の健康相談
15 ㊦	医師による健康講座 健口栄養講座	13:00-15:30 9:30-13:00	東公民館 北公民館	P22参照 対象*口の栄養に関心がある65歳以上の人
16 ㊦	転倒予防教室 健診結果説明会	9:30-12:00 受け付け/ 15:00-15:30	のびのび館 いきいき館	理学療法士の運動指導 健診の結果を必ず持参してください
17 ㊤	リハビリ健康相談 認知症予防教室	9:30-11:00 9:30-13:00	いきいき館 老人福祉センター	理学療法士のリハビリ指導、相談
18 ㊦				
19 ㊦				
20 ㊦	健口栄養講座	9:30-13:00	いきいき館	対象*口の栄養に関心がある65歳以上の人
21 ㊦	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、保健師の健康相談
22 ㊦	転倒予防教室 5~6カ月健康相談	9:30-12:00 受け付け/ 10:00-10:30	北公民館 いきいき館	健康運動指導士による運動指導 対象*平成23年8月~9月生まれの子ども
23 ㊦	健康栄養講座 冬場の運動不足解消教室 転倒予防自主トレーニング 転倒予防教室 認知症予防教室	10:00-13:00 13:30-15:00 9:30-12:00 10:00-11:30 9:30-13:00	いきいき館 みなくる館 のびのび館 老人福祉センター 一川目生活会館	P22参照 理学療法士の運動指導
24 ㊤	リハビリ健康相談 3歳児健康診査	9:30-11:00 受け付け/ 12:30-12:45	いきいき館 老人福祉センター	理学療法士のリハビリ指導、相談 対象*平成20年8月生まれの子ども
25 ㊦				
26 ㊦				
27 ㊦				
28 ㊦	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、保健師の健康相談
29 ㊦				

## 編集後記

▼担当になって、はや半年が過ぎました。広報という仕事を通じて今月もたくさんの人と話すことができました。その中で、皆さんの夢や目標を聞く機会が多々ありました。「みんな頑張っているんだな、自分も頑張らないと」と勇気付けられることが多く、気持ちの面からも皆さんに支えられているのを実感しています。▼自分の目標は、毎月のことですが記事の編集に時間がかかっているの、家族サービスをすることが小さな目標です。▼これからは寒さが一層厳しくなってきました。2月は百石えんぷり。伝統ある催事を間近で感じることができるとを楽しみにしています。皆さんも足を運んではいかがでしょうか。

企画課 広報担当 野崎

## 復興支援寄附金

▼ナイスハートバザール参加団体  
▼おいらせ鮭まつり実行委員会

## たくさんのご支援ありがとうございます

東日本大震災で被害を受けた本町に多くの方々から義援金、復興支援寄附金などをいただきました。12月1日から1月12日現在までにいただいた分を掲載しています。(順不同、敬称略。匿名の方や本人の意向により掲載してほしくない方は省略させていただきました。)

## 災害義援金

- 西館久吉▼杉江俊治▼飯田順一▼佐藤政史▼鳴海恵美子▼大山行雄▼日本郵政募金会▼第一美術協会▼加多木美緒▼田中昇▼支那そば処たんぼぼ▼金子元▼菊池真紀子▼多田ルミ子▼東京青森県人会▼田原金物店▼佐藤宏▼岩井康信▼小山田直留▼藤政道▼小池修▼木原照蔵▼関重之▼田保蓉子▼大谷明久▼百石地区テレビ共同受信組合連合会▼ザ・カチモリ

【訂正してお詫言申し上げます】

10月号24ページ  
誤)むつ市局友会  
正)むつ市旭友会

(1月12日現在)  
おいらせ町災害復興支援寄附金 30,923,233円  
おいらせ町災害義援金 29,477,628円  
ご寄付いただきました方々の寄付目的を確認した上で、災害義援金と復興支援寄附金とに分けて受付しております。

### 災害義援金の配分

被災者の被災程度に応じて配分します。義援金を公平かつ効果的に配分するために、おいらせ町災害義援金配分委員会を開催し、次のとおり配分しております。

- 配分対象と配分額(第四次配分まで)  
住家全壊 64.5万円  
住家半壊 21.5万円  
住家一部損壊(地震) 6万円  
住家一部損壊(津波) 3万円

○配分済額 27,935,000円  
(現在高 1,542,628円(1月12日現在))

絵を描くことが大好き

# 柏崎小雪さん



## Profile

かしわざき・こゆき  
2002年(平成14年)生まれ。  
普段はおっとりしていてマイペース。友達と一緒に遊ぶことが大好き。自分が決めたら最後までやり遂げるしっかりした面も。家族は母、兄、祖母の4人。上新町在住。10歳

子ども絵画のコンクールで入賞を果たした柏崎小雪さん(百石小4年)。住友生命保険相互会社(佐藤義雄社長)主催の第35回こども絵画コンクールで秀作賞を受賞し、1月7日から9日まで、東京で開催された全国展覧会に作品が展示されました。このコンクールは、国内はもとより海外からの応募も含めて約20万点の作品が集まり、各支社で審査。その中の優秀作品585点に選ばれました。

「最初はびっくりしたけど、賞を貰えてとてもうれしい」と受賞した喜びを笑顔で話す小雪さん。作品名は「ほたるの光」。田んぼでホタルを見て描きたいと思ったとのこと。普段は学校で友達と遊ぶことが大好き。少し恥ずかしがり屋で写真撮影時は、はにかんだ笑顔が印象的でした。



### 受賞作品 「ほたるの光」

田んぼ一面にたくさんのホタルが飛び交っているところを描いている



がんばろう  
おいらせ。  
がんばろう  
ニッポン。

「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち」の情報誌

広報 おいらせ